

# 響け! "ボランティア文化" 協奏曲

地域はもちろん 学校でも 会社でも

あらゆる場面でボランティアや

ボランタリーな精神が息づく

そんな地域社会をめざしていこう

「ボランティア全国フォーラム軽井沢2018」では、  
この思いを参加者のみなさんと共有し、ともに考え、  
全国に発信していきます。  
みなさんの参加をお待ちしています!

軽井沢から全国へ



軽井沢大賀ホール

2018  
11/3<sup>土</sup>・4<sup>日</sup>

会場

## 軽井沢大賀ホール

(全体会)

軽井沢プリンスホテル ウェスト・佐久平交流センター ほか  
(交流会) (分科会)

時間

3<sup>土</sup>日 全体会  
13:00~17:00 (受付開始 12:00)  
交流会  
18:00~20:00  
4<sup>日</sup> 分科会・フィールドワーク・閉会セレモニー  
9:30~14:00

定員

600人

参加費

5,000円 (大学生以下は500円)  
※別途交流会参加者 7,000円 (希望者のみ)

参加対象者  
参加範囲

ボランティア活動に関心のある方  
ボランティアコーディネーターとして活動している方

申込方法

本開催要綱の申込書、  
または軽井沢町社会福祉協議会ウェブサイトから

申込締切

2018年9月30日 17:00まで (受付開始  
2018年7月1日より)

お問い合わせ

社会福祉法人 軽井沢町社会福祉協議会  
〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉4844番地1  
TEL 0267-45-8113(代) FAX 0267-46-2116  
<http://www.karuizawashakyo.com/>

詳細はこちら



社会福祉法人  
軽井沢町社会福祉協議会



facebook  
ボランティア全国フォーラム  
軽井沢2018

主催 ボランティア全国フォーラム軽井沢2018実行委員会  
「広げろボランティアの輪」連絡会議  
社会福祉法人 全国社会福祉協議会

後援 (予定) 文部科学省・長野県・軽井沢町・佐久市  
小諸市・御代田町・立科町・佐久穂町・小海町  
南牧村・南相木村・北相木村・川上村

協賛 (予定) 日本生活協同組合連合会・教職員共済  
生活協同組合・全国労働者共済生活協  
同組合連合会・一般社団法人日本新聞  
協会

社会を良くするたしかな一歩



赤い羽根  
福祉基金

# もくじ

開催趣旨	1
日程・会場案内	2
プログラム(11/3)	4
・開会	
・シンポジウム	
・分科会プレ企画	
・交流会	
プログラム(11/4)	6
・分科会(学び合い)	
・分科会(フィールドワーク)	
・まとめ・共有	
・閉会セレモニー	
参加申し込み方法	13



重要文化財 旧三笠ホテル



白糸の滝

# 開催趣旨

ボランティア全国フォーラム軽井沢2018

メインテーマ **響け！"ボランティア文化" 協奏曲**

わが国では、少子高齢化や人口の都市集中によるコミュニティの変化、生活困窮、社会的孤立、多発する災害への対応などが課題となっています。誰もが安心して暮らせる持続可能な社会や地域をつくるため、一人ひとりがボランティア・市民活動を通じて主体的・自発的に参加していくことが求められています。

そのためには、地域はもちろん、学校でも、会社でも、日常生活にボランティア・市民活動やボランティア精神が息づき、深く浸透すること、つまりボランティアが文化として根づくことが重要です。

戦後、ボランティアという言葉がまだ知られていなかった時代に、ボランティア活動の萌芽である共同募金運動や赤十字奉仕団などが誕生しました。これを契機に地域課題解決の糸口を当事者と協働しながら、自らの生きがいがいつくりや多くの人々の幸福に貢献する活動へとつながってまいりました。いつの時代も市民の力は、より良い社会をつくる大きなエネルギーとなっているのです。

「生活の中に、あたり前にボランティア・市民活動の文化が息づき、BGMのように自然に奏でられ響いている地域社会をめざしたい…」ボランティア全国フォーラム軽井沢2018は、軽井沢の音楽・文化活動の拠点である軽井沢大賀ホールを主会場に、長野県内や全国の先駆的なボランティア・市民活動の実践を、推進者のみなさんと学び、共有し、その成果を全国に向けて発信していくことを目的に開催します。

ボランティア全国フォーラム軽井沢2018  
実行委員長

矢内 英男



## 主催

ボランティア全国フォーラム軽井沢2018 実行委員会

軽井沢町社会福祉協議会、軽井沢町ボランティアセンター運営委員会、小諸市社会福祉協議会、佐久市社会福祉協議会  
御代田町社会福祉協議会、立科町社会福祉協議会、小海町社会福祉協議会、佐久穂町社会福祉協議会、川上村社会福祉協議会  
南牧村社会福祉協議会、南相木村社会福祉協議会、北相木村社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会  
長野県民生委員児童委員協議会連合会、長野県NPOセンター、長野県長寿社会開発センター、長野県生活協同組合連合会  
～このフォーラムは、第42回信州発ボランティア地域活動フォーラムと合わせて開催します～

◇  
「広がれボランティアの輪」連絡会議

◇  
全国社会福祉協議会

# 日程・会場案内

地域の福祉・生活課題が多様化、複雑化するなかで、住民どうしがお互いの困りごとに気づき、ともに助け合う地域共生社会を実現したい。「ボランテア全国フォーラム軽井沢2018」は、ボランテア・市民活動を進めるみなさんが、全国をはじめ、軽井沢・佐久地域のさまざまな活動を通じて学び、これからの活動を進める元気が湧くシンポジウム、多くの分科会・フィールドワークを準備してお待ちしています。

## 11/3 土 〈全体会〉

主会場：軽井沢駅エリア

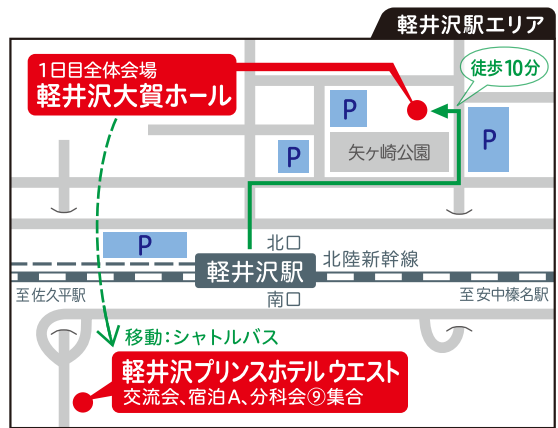
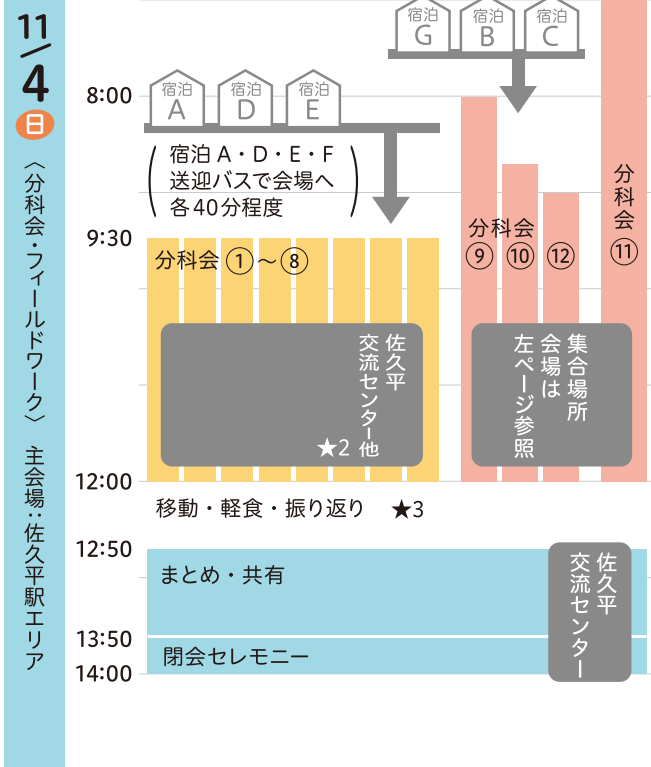
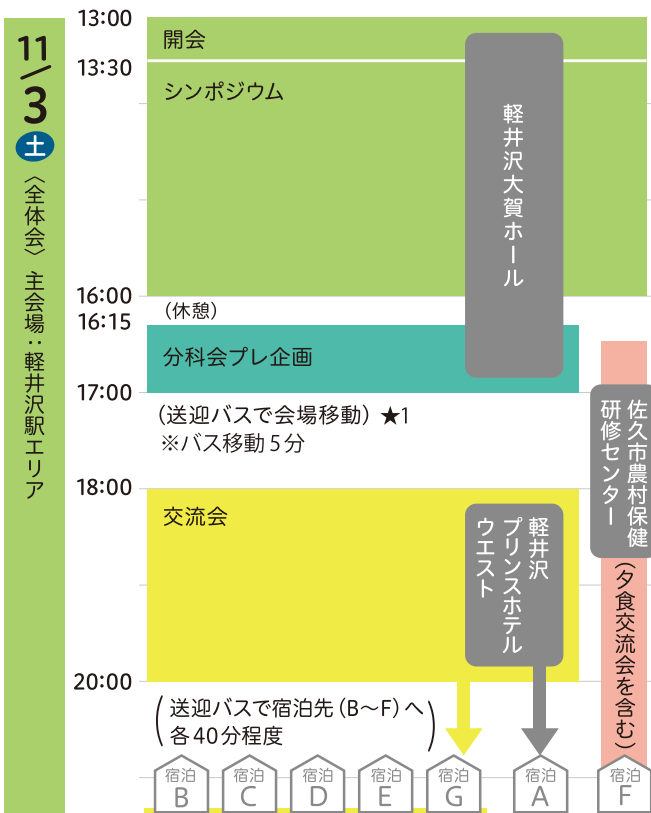
12:00	受付開始		軽井沢大賀ホール 長野県北佐久郡軽井沢町 軽井沢東 28-4 TEL0267-42-0055
13:00	開会	開会宣言・主催者代表挨拶	
13:30	シンポジウム	鹿野 順一さん (NPO法人@リアスNPOサポートセンター代表理事) 宮下 俊哉さん (NPO法人ほこほコネクト理事長) 鈴木 健夫さん (軽井沢町「大槌会」代表 音羽ノ森 代表取締役) 上野谷 加代子さん (「広がれボランテアの輪」連絡会議会長/同志社大学教授) 山崎 美貴子さん (「広がれボランテアの輪」連絡会議顧問/東京ボランテア・市民活動センター所長)	
16:00	休憩		
16:15	分科会プレ企画	永井 美佳さん (「広がれボランテアの輪」連絡会議 提言プロジェクトチーム/大阪ボランテア協会事務局長) 原田 正樹さん (「広がれボランテアの輪」連絡会議副会長/日本福祉大学学長補佐 社会福祉学部教授)	
17:00	会場移動 (バス移動5分)	送迎バスで交流会会場またはホテルへ移動します。	
18:00	交流会 (有料・希望者のみ)	軽井沢プリンスホテル ウェスト 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1016-88 TEL0267-42-1111	
20:00			

## 11/4 日 〈分科会〉

主会場：佐久平駅エリア

9:00	分科会	<p>〈学び合い〉</p> <p>① 地域とともに育む、サロンや縁側活動の魅力を発信！～人とヒト、人と地域をつなぐハーモニー～</p> <p>② 人を動かし、地域も動かす“5つの気”</p> <p>③ 互いを知り、この地で暮らそう～「やさしい日本語」で「やさしい地域づくり」～</p> <p>④ 若者がリードする社会貢献活動、ファンレイジングの今</p> <p>⑤ ボランテア活動を文化として根づかせる～持続可能な社会を実現するために～</p> <p>⑥ 頼り合いを文化に～アズママの挑戦から学ぼう～</p> <p>⑦ 災害支援の力をより活きた暮らしにつなげるために～みんなの力を一つにする可能性～</p> <p>⑧ 地域づくりコアメンバー&amp;生活支援コーディネーター大集合！</p> <p>〈フィールドワーク〉</p> <p>⑨ 軽井沢から発信！住民参加のまちづくり [集合：軽井沢プリンスホテルウェスト(宿泊A)]</p> <p>⑩ まちのにぎわいと活性化は市民のチカラで [集合：小諸駅]</p> <p>⑪ 農村医療・地域医療のパイオニアに学ぶ・健康長寿の地域づくり [11/3 全体会場から出発(宿泊G指定)]</p> <p>⑫ 学生もいきいき！よってらっしゃい“いきいきサロン” [集合：佐久平プラザ 21(宿泊B)]</p>	<p>佐久平駅エリア いずれかの会場 (予定)</p> <p>佐久平交流センター</p> <p>佐久平プラザ 21</p> <p>イオンモール佐久平</p> <p>佐久大学</p> <p>軽井沢発地市民庭・雲場地</p> <p>小諸市内</p> <p>佐久市農村保健研修センター</p> <p>佐久市内公民館</p>
12:00	移動・軽食 振り返り	軽食のふるまいを主催側でご用意しております。	
12:50	まとめ・共有	永井 美佳さん 原田 正樹さん	佐久平交流センター 長野県佐久市 佐久平駅南 4-1 TEL0267-67-7451
13:50	閉会セレモニー		
14:00			

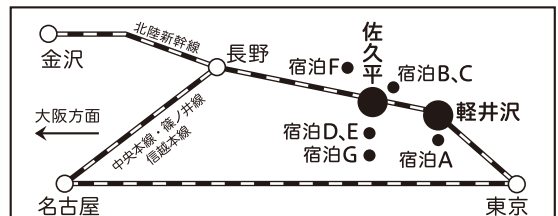
(※プログラムは変更されることがあります)



- |   |                           |        |        |
|---|---------------------------|--------|--------|
| A | 宿泊A 軽井沢プリンスホテルウエスト        | 交流会    | 分科会⑨集合 |
| B | 宿泊B 佐久平プラザ21              | 分科会⑫集合 |        |
| C | 宿泊C アクアホテル佐久平             |        |        |
| D | 宿泊D 佐久一萬里温泉ホテルゴールデンセンチュリー |        |        |
| E | 宿泊E 佐久グランドホテル             |        |        |
| F | 宿泊F 佐久市農村保健研修センター         | 分科会⑪指定 |        |
| G | 宿泊G 小諸グランドキャッスル           | 分科会⑩指定 |        |
- 宿泊場所へは無料送迎バスを用意しています。

軽井沢への交通(新幹線・JR線)

- 東京駅 ⇒ 北陸新幹線「軽井沢駅」(約1時間15分)
- 名古屋駅 ⇒ 長野経由 ⇒ 「軽井沢駅」(約4時間30分)
- 名古屋駅 ⇒ 東京経由 ⇒ 「軽井沢駅」(約3時間)
- 大阪駅 ⇒ 東京経由 ⇒ 「軽井沢駅」(約4時間30分)



お車でお越しの場合のご案内は  
ボランティア全国フォーラム軽井沢2018facebook  
をご覧ください。

- ★1... 交流会に参加されない方のために、ホテルへの送迎バスも予定しています。ただし、本フォーラム指定業者「日本旅行上田支店」に宿泊をお申込みいただいた場合に限りです。
- ★2... 佐久平交流センター他の分科会場は、希望人数によって決定し、参加券に記載してご案内いたします。
- ★3... 2日目の昼食は、軽食のふるまいを用意しております。移動の時間確保の都合で、皆様には、閉会後にゆっくり昼食をとっていただくことをお勧めいたします。なお、佐久平交流センター開催の分科会の場合、12:00~12:50の時間帯で、隣接のイオンモール佐久平店で昼食をおとりいただくことも可能です。

11/3<sup>±</sup>

プログラム  
11/3<sup>±</sup>

**開会** 13:00～13:30

～Welcome to Karuizawa～

## 全国をつなぐボランティア活動と「私縁の輪」を広げよう

- ・開会宣言
- ・アンサンブル演奏
- ・主催者代表挨拶

### 軽井沢ファミリーオーケストラ

軽井沢大賀ホールを拠点とし、軽井沢町の音楽文化の醸成をボランティア活動によって推進しようと活躍する団員 55 名を抱える市民オーケストラ。児童館での子ども会や公民館での敬老会などの演奏活動も増えています。今回はフォーラム特別編成アンサンブルでみなさんをお迎えます！



**シンポジウム** 13:30～16:00

## 「支え合いの文化を全国に広げるボランティア活動」

支え合いの文化が全国に広がることをめざして…。

生活拠点(ミクロ)から全国域(マクロ)までのさまざまな活動を通じて、今後のボランティア・市民活動推進の新たなヒントを得るため、シンポジストの東日本大震災等被災地支援活動の過程を議論の主題に取り上げて共有して行きます。

【シンポジスト】

【コーディネーター】

【コメンテーター】



NPO法人  
@リアスNPOサポートセンター  
代表理事

鹿野 順一 さん



NPO法人ほこほコネク  
ト理事長

宮下 俊哉 さん



軽井沢町「大槌会」代表  
音羽ノ森 代表取締役

鈴木 健夫 さん



「広がれボランティアの輪」  
連絡会議会長  
同志社大学教授

上野谷 加代子 さん



「広がれボランティアの輪」  
連絡会議顧問  
東京ボランティア・  
市民活動センター所長

山崎 美貴子 さん

**分科会プレ企画** 16:15～17:00



「広がれボランティアの輪」  
連絡会議提言プロジェクトチーム  
大阪ボランティア協会  
事務局長

永井 美佳 さん



「広がれボランティアの輪」  
連絡会議副会長  
日本福祉大学学長補佐  
社会福祉学部教授

原田 正樹 さん

## 支え合いの文化は私たちが作る！

～分科会・フィールドワークに向けて～

分科会は、8つの学び合いと4つのフィールドワークの合計12種類を設定しています。

参加者どうしが学びの時間を深め合いながら「私縁の輪」(自分からご縁を広げ繋がっていく)を広げるために出会いと交流を進めていきましょう。

交流会 18:00～20:00

出あい!・語りあい!・つながりあい!  
Karuizawaの真ん中には「あい」がある!  
交流会へ全員集合

こきょう  
御代田町龍神太鼓保存会「鼓響」

御代田町を拠点に活動し、今年で結成 33 年を迎える創作和太鼓集団です。  
元群馬交響楽団、打楽器奏者で群馬県和太鼓会顧問である友石武彦氏を師と仰ぎ、  
打鼓技術の向上はもとより、人づくりを根幹に日々太鼓道に精進しています。



～気持ちを込めて作りました!!～  
佐久地域の障がい者関係団体による逸品の展示販売会

12:00～ 全体会会場・大賀ホール ホワイエにて

小諸市

小諸学舎

障がいのある方や地域住民のボランティアの皆さんとともに創作・生産活動を行っています。好評のカゴ、クッキーなどをお持ちしました。どうぞよろしくお願いします。



御代田町

やまゆり共同作業所

地域の中でそれぞれの目標を持って活動しています。  
このカゴは私達が心を込めて手作りしています。1 つとして同じ物はない「世界に1つしかないカゴ」です。皆さんぜひご覧ください。



軽井沢町

地域活動支援センター

私たちは、生産・創作活動を通じて地域社会への参加を続けています。  
特に販売予定の「裂き織」は自慢の逸品です。私たちの作品を手にとってご覧くださいね。お待ちしております!



# 11/4 日 分科会(学び合い) ①～④

プログラム 11/4 日

## 分科会(学び合い)会場について

- 佐久平駅エリア
- 佐久平交流センター(メイン会場)
  - 佐久平プラザ 21
  - イオンモール佐久平
  - 佐久大学

※佐久平駅エリアの分科会場は、希望人数によって決定し、参加券に記載してご案内いたします。  
佐久大学への移動は送迎バスが出ます。



### 1 分科会

居場所・サロン

定員 70名

## 地域とともに育む、サロンや縁側活動の魅力を発信！ ～人とヒト、人と地域をつなぐハーモニー～

人口減少が進み、核家族化等による人間関係の希薄化など、あらゆる地域課題が顕在化している昨今、一人ひとりが役割や生きがいを高めていくためのサロンや縁側活動に期待が寄せられています。地域性や社会資源を活かした活動について、店だし(活動見本市)方式で参加者に伝えるとともに、参加者と一緒に学び、語り合います。



【出演者】佐久地域でサロン、縁側活動を行うグループ(10団体程度予定)  
【ファシリテーター】調整中

企画・運営：御代田町社会福祉協議会、長野県長寿社会開発センター、長野県生活協同組合連合会、長野県社会福祉協議会

### 2 分科会

中山間地域

定員 50名

## 人を動かし、地域も動かす“5つの気”

人や地域を動かす“気”とは？【好き・その気・やる気・本気・元気】の5つの気です。5つの気が集まることで「活気」が生まれます。地域の中では、元々その土地に住む人、他の土地から移り住んだ人、熱い気持ちを持っている人、技術を持っている人など、さまざまな人が希望や可能性、地域への愛など、色々な想いを持って関わっています。地域づくり＝人づくりと言われるほど、人は地域づくりの大きな柱です。長野県の中山間地域から発信される、地域を考えるきっかけや地域を活かすアイデア、“人”や“気”について、全員参加型のパネルディスカッションで一緒に熱く語り合います。



【コーディネーター】石田 諒 さん(佐久市地域おこし協力隊)  
【実践発表者・コメンテーター】調整中

企画・運営：川上村社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会



3  
分科会

多文化共生

定員 40 名

互いを知り、この地で暮らそう  
～「やさしい日本語」で「やさしい地域づくり」～

地域は、高齢者から子ども、外国籍の方、障がいがある方など、多様な暮らしがあり、支え合うことで成り立っています。地域の皆さん一人ひとりが必要な情報を得て、コミュニケーションをとることができるよう、誰でも分かりやすい表現や言葉遣いを意識した「やさしい日本語」が、いま注目されています。

災害などの非常時にも「やさしい日本語」によって必要な情報を得ることで、地域で孤立することを防ぐことができます。また、外国からの観光客などの皆さんとの情報共有方法としても活用ができます。

この分科会では、災害時の体験等を通じ「やさしい日本語」が必要とされる意味を学び、住民みんなでやさしい地域をつくることをめざして、参加者の皆さんと一緒に考えます。



【講師】羽賀 友信さん(新潟県・長岡市国際交流センター センター長)  
【報告者】沙 軍崗(サグンコウ)さん、楊 艶(ヨウエン)さん(東日本大震災被災経験者)

担当：春原 直美(個人ボランティア)、佐久市社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会

4  
分科会

若者の社会参加

定員 70 名

若者がリードする社会貢献活動  
ファンドレイジングの今

ボランティアや NPO などの活動を通じて、参加する若者が「少ない!」という声を耳にする機会があります。しかし、若者や学生は、こうした社会貢献活動や寄付などを集めるファンドレイジングに本当に関心がないのでしょうか。「関心はあるが参加の仕方がわからない」と思う若者の割合が高いという調査結果もある中で、地域社会の一員として積極的に活動に参加できる「若者本位」の意識づくり、場づくりが一層求められているのではないのでしょうか。

この分科会では、学校における社会貢献教育や地域での体験プログラムの提供といった実践を共有し、若者や学生が社会貢献活動、ファンドレイジングなどに参加する意義を確認し、それを促進するための課題や解決に向けたアクションについて考えます。



【講師】藤木 正史さん  
(東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭/日本ファンドレイジング協会 社会貢献教育ファシリテーター)

【事例発表者】宮下 俊哉さん(真田の郷まちづくり推進会議)  
中城 隼人さん(長野県 NPO センター)  
東京学芸大学附属国際中等教育学校 ボランティア部学生  
長野県 NPO センター youth reach 学生スタッフ

【コーディネーター】大塚 香織さん(日本ファンドレイジング協会 認定ファンドレイザー 社会貢献教育ファシリテーター)

企画・運営：長野県共同募金会、長野県 NPO センター、長野県社会福祉協議会

## 11/4 日 分科会(学び合い) ⑤～⑧

5  
分科会

持続可能性とボランティア

定員 100名

ボランティア活動を文化として根づかせる  
～持続可能な社会を実現するために～

ボランティア活動は、地域に密着した「地縁型」と特定の課題の解決をめざす「テーマ型」に分類されてきました。しかし、社会的孤立の問題などは、さまざまな要素が絡み合っており、従来の分類ができない地域課題といえます。

こうした「ごちゃまぜ」の地域課題を抱える地域社会において求められるのが、「持続可能性」という視点です。実現のためには、市民一人ひとりが、「ごちゃまぜ」の課題解決に向けて、ボランティア活動などに主体的に参加することが必要です。ボランティア活動が市民一人ひとりの生活様式に深く根づく＝「文化」として根づくことが重要ではないでしょうか。

この分科会では、ボランティア活動を文化として根づかせるために必要なことを、実践事例を交えながら、参加者のみなさんと一緒に考えます。



## 【コーディネーター】

阿部 陽一郎さん(「広がれボランティアの輪」連絡会議 提言プロジェクトチーム/中央共同募金会 事務局長)

永井 美佳さん(「広がれボランティアの輪」連絡会議 提言プロジェクトチーム/大阪ボランティア協会 事務局長)

【助言者】山崎美貴子さん(「広がれボランティアの輪」連絡会議 顧問/神奈川県立保健福祉大学顧問・名誉教授)

【実践報告】各地で実践を進めるみなさん(調整中)

企画・運営：「広がれボランティアの輪」連絡会議、川上村社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会

6  
分科会

子育て文化と「頼り合い」

定員 30名

頼り合いを文化に  
～アズママの挑戦から学ぼう～

ちょっとした手助けがほしいとき、一人で頑張るのではなく、声をあげ、同じ想いを持つ人と出会い、相談し、助け合うことで地域社会が変わっていきます。

スマートフォンの活用、企業とのパートナーシップにより利用者負担がないなど、ユニークな仕組み「子育てシェア」を全国で展開する AsMama(アズママ)の活動に触れ、私の地域でも新しい助け合いをデザインしてみませんか。

この分科会では、Asmama の実践事例から、誰もが気軽に頼り合えるために、地域のキーパーソンとなる支え合いの推進者がどんな工夫をできるか、参加者の皆さんと情報交換しながら考えます。明日からの活動のヒントを持ち帰り、それぞれの地域に“頼り合い”が根づくことをめざします。

【出演者】Asmama ママサポーターのみなさん

跡部千慧さん(静岡県静岡市)、早川佑桂さん(長野県長野市)

木村かほりさん(長野県茅野市)ほか

企画・運営：株式会社 AsMama(アズママ)、長野県社会福祉協議会



7  
分科会

災害支援

定員 40名

## 災害支援の力をより活きた暮らしにつなげるために ～みんなの力を一つにする可能性～

毎年、全国各地で地震や豪雨等による災害に見舞われていますが、その都度、災害ボランティアセンターが立ち上がり、ボランティアによる支援活動が、被災者の生活復旧や自立を支える大きな役割となっています。

一方、東日本大震災や熊本地震等の大規模災害の成果や教訓からは、ボランティア・企業・NPO 等との災害支援に関わる情報共有・支援調整の仕組みに、地元大学が加わる有効性が見えてきました。

大学などの地域拠点にて、ボランティア・企業・NPO の情報共有や発信を行う総合調整機能の可能性を探ります。

【コーディネーター】

石井 布紀子さん(さくらネット 代表理事/災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 幹事)

【実践報告】調整中

企画・運営：松本大学、ローカル・コミュニティ、長野県生活協同組合連合会、長野県社会福祉協議会



8  
分科会

生活支援

定員 40名

## 地域づくりコアメンバー &生活支援コーディネーター大集合！

生活支援体制整備事業の展開により、生活支援コーディネーター(SC)の配置が全国で進んでいます。

全国各地の地域づくりコアメンバーとSCがどのように出会い、つながり、活動に取り組んでいるのか、誰もが羨むフレキシブルな相思相愛の関係づくりのヒントを探ります。

制度創設前から、長年地域福祉の推進に連れ添ってきた熟練カップルも大募集！  
どうして長年連れ添えたのか？波乱万丈の関わりの中で、きらりと光る二人の関係性にも焦点を当てながら、住民主体の地域づくりに向けて、実践者と支援者、お互いの出会い方・付き合い方を考えます。

【コーディネーター】高橋 望さん(さわやか福祉財団新地域支援事業担当リーダー)

【実践報告】調整中

企画・運営：さわやか福祉財団、立科町社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会



# 11/4 日 分科会(フィールドワーク) ⑨ ~ ⑩

プログラム 11/4 日

9  
分科会

情報交流の場づくり

定員 20名

## 軽井沢から発信!! 住民参加のまちづくり

【体験】景勝地 雲場池 清掃ボランティア  
【見学】軽井沢町ボランティアセンター運営委員会「月例情報市庭」

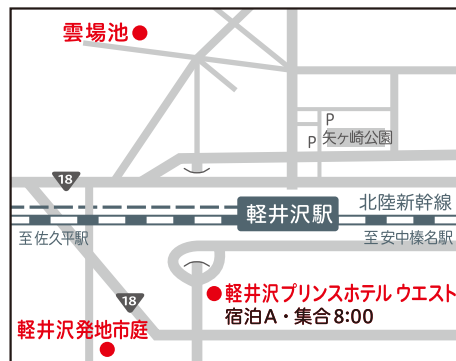
多様な社会性に富む軽井沢町で始まった月例情報市庭は、複雑多様化する生活課題の解決の糸口を模索し、広がる住民相互のネットワークの構築をめざし、多くのボランティア・地域活動者の情報交流の場となっています。住民自らが立ち上がり、地域課題の解決をめざし、行動する姿、「互恵の形」を学びます。

【出演者】雲場池を美しくし隊メンバーのみなさん  
「月例情報市庭」のメンバーのみなさん



企画・運営：軽井沢町ボランティアセンター運営委員会  
軽井沢町社会福祉協議会

11/3(土) 宿泊(軽井沢プリンスホテルウエスト推奨)  
11/4(日) 8:00 集合(集合場所: 宿泊A)  
↓  
体験・見学  
↓  
12:20 佐久平交流センター着



10  
分科会

まちづくり

定員 20名

## まちのにぎわいと活性化は市民のチカラで

【訪問先】小諸市「駐車場ガーデン」「ほんまち町屋館」ほか

古い歴史を持つ小諸市。駅前ににぎわいづくりに向けた、参加型の公園づくりが始まりました。市民が夢を語り合うワークショップからはじまり、デザインや園芸の専門家が知恵を出し合い、NPOやボランティア組織が立ち上がり、誕生したのが「駐車場ガーデン」。地域の拠点として集う人の輪が広がっています。

駐車場ガーデンを中心に、市民の想いや願いをどのように活かしてまちのにぎわいづくりに取り組んでいるのかを学びます。

【案内人(実践報告、コーディネーター)】

荻原 礼子さん  
(まちづくりプランナー  
NPO 法人こもろの杜 副理事長)



企画・運営：こもろ観光局、NPO 法人こもろの杜、小諸市社会福祉協議会

11/3(土) 宿泊  
(小諸グランドキャッスルホテル推奨)  
11/4(日) 8:45 集合(集合場所: 小諸駅)  
↓  
体験・見学  
↓  
12:20 佐久平交流センター着



11  
分科会

健康長寿

定員 30名

農村医療・地域医療のパイオニアに学ぶ・健康長寿の地域づくり

農村医療・地域医療の先進地である佐久地域は、現在の地域包括ケアシステムの原点とも言える実践が展開され続け、その歴史は住民と専門職の意識も変えた活動として、今でも地域で脈々と取り組まれています。

11/3 【宿泊施設で夕食交流会】  
(土) 農村保健研修センター(宿泊F) 健康体操の体験  
農村医療の現代社会における展開などを学びながら夕食交流会  
[A・B班(各15名)にグループ分けを行います。]

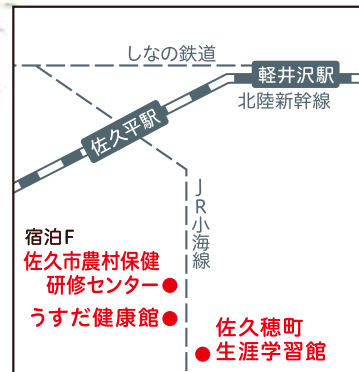
11/4 【A班/見学・講義】  
(日) うすだ健康館「農民とともに」をスローガンに  
農村医療を開拓した佐久総合病院。病院と住民  
がつながる拠点の一つ「うすだ健康館」で、農村  
医療の現代社会における展開を学びます。

【B班/参加・体験】  
健康づくりイベント「メリアワンダー」  
佐久穂町で、千曲病院と連携して、普段の生活の中で無理せず健康寿命を  
伸ばそうと健康体操を推進するグループが育てた、町をあげての一大イベ  
ント。ご当地ソングに合わせた健康体操や、健康づくり活動事例を学びます。



11/3 (土) 16:30 大賀ホール発 (宿泊F)  
佐久市農村保健研修センター  
18:00 宿泊施設で夕食交流会

11/4 (日) 9:00 センター出発  
↓  
うすだ健康館  
佐久穂町生涯学習館  
↓  
12:20 佐久平交流センター着



【案内人】うすだ健康館  
佐久穂町地域いきいき健康クラブ  
企画・運営：佐久穂町社会福祉協議会、南佐久郡内社会福祉協議会  
佐久市社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会

12  
分科会

学生・若者出番

定員 25名

学生もいきいき! よってらっしやい“いきいきサロン”

【実践報告】志賀下宿サロン×佐久大学生の取組み/宿泊B 【先進地域事例】(調整中)  
【体験】新子田サロン体験(新そば試食!など)/新子田世代交流館

多くの団体、地域が、ボランティア活動や地域活動に若者の関わりを求めています。地域と若者がつながるための仕掛けは若者に届いているのでしょうか?  
「健康長寿都市」を宣言している佐久市でも、地域住民主体で開催する「いきいきサロン」は、高齢者の大切な生きがい、楽しみになっています。  
このフォーラムにあわせて、若者が地域住民とともにこのサロンの企画・運営に関わってみました。この取り組みを振り返りながら、地域と若者がつながるヒントときっかけづくりを、実際のサロンを体験しながら学びます。

【案内人】  
新子田サロン  
志賀下宿サロンのみなさん  
佐久大学の学生のみなさん

企画・運営：佐久大学(信州短期大学部・看護部)、サロン世話人  
佐久市社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会



11/3(土) 宿泊(佐久平プラザ21 推奨)

11/4(日) 9:00 集合(集合場所:宿泊先B)  
実践報告等  
↓  
10:30 新子田世代交流館  
↓  
12:20 佐久平交流センター着





- フォーラム参加費 5,000円(大学生以下500円)
- 交流会参加費 7,000円  
※大会初日(11月3日 18:00~20:00予定)に「軽井沢プリンスホテルウエスト」にて交流会を開催します。
- 宿泊のご案内【2018年11月3日泊】  
※開催期間中のご宿泊として下記の宿泊施設のご手配を承ります。

3ページ参照	ホテル番号	地区	宿泊施設	部屋タイプ	旅行代金	各会場から/最寄駅等
宿泊A	A-①	軽井沢町	軽井沢プリンスホテルウエスト	シングル (1室1名利用)	12,900円	全体会場からシャトルバスにて約5分 全体会場から徒歩にて約20分 分科会場までシャトルバスにて約40分 ※北陸新幹線「軽井沢駅」より徒歩10分
	A-②			ツイン (1室2名利用)	10,000円	
宿泊B	B-①	佐久市 (駅周辺)	佐久プラザ21	シングル (1室1名利用)	8,000円	全体会場からシャトルバスにて約40分 分科会場まで徒歩約5分 ※北陸新幹線「佐久平駅」より徒歩3分
	B-②			ツイン (1室2名利用)	8,000円	
宿泊C	C-①	佐久市 (市内)	アクアホテル佐久平	シングル (1室1名利用)	8,800円	全体会場からシャトルバスにて約40分 分科会場まで徒歩約5分 ※北陸新幹線「佐久平駅」より徒歩3分
	C-②			ツイン (1室2名利用)	8,050円	
宿泊D	D-①	佐久市 (市内)	佐久一萬里温泉ホテル ゴールデンセンチュリー	シングル (1室1名利用)	8,090円	全体会場からシャトルバスにて約45分 分科会場までシャトルバスにて約10分 ※北陸新幹線「佐久平駅」よりホテルバスにて15分
	D-②			ツイン (1室2名利用)	8,090円	
宿泊E	E	佐久市 (市内)	佐久グランドホテル	シングル (1室1名利用)	7,200円	全体会場からシャトルバスにて約45分 分科会場までシャトルバスにて約15分 ※八ヶ岳高原線「中込駅」より徒歩7分
宿泊F	F-①	小諸市 (駅周辺)	農村保健研修センター	シングル (1室1名利用)	11,800円	フィールドワーク①に参加される方の宿泊施設 ※旅行代金は、夕食交流会・朝食付き お風呂は大浴場(男女別)
	F-②			ツイン (1室2名利用)	10,720円	
宿泊G	G-①	小諸市 (駅周辺)	小諸グランドキャッスル	シングル (1室1名利用)	6,300円	全体会場からシャトルバスにて約40分 分科会場までシャトルバスにて約20分 フィールドワーク②会場まで徒歩5分 ※しなの鉄道線「小諸駅」より徒歩5分
	G-②			ツイン (1室2名利用)	6,300円	

※宿泊代金は朝食付き・サービス料税金込みの一人様1泊あたりの金額です。お部屋はすべてバス・トイレ付き。(宿泊Fを除く)

※シャトルバスには、日本旅行を通して宿泊を予約された参加者の方のみご乗車いただけます。

※大賀ホールでの途中入退場はお控えください。クロークでは**大型荷物のみ**お預かりしますので、上着やコート類はご自身で管理をお願いします。

※客室数に限りがございますので先着順にて受付をさせていただきます。上記宿泊施設が満室となりました場合は近隣の

他ホテルをご案内させていただく場合がございます。予めご了承ください。

※添乗員は同行致しません。

※最少催行人員1名様

※日程 1日目 ご自宅(または前泊地)・・・ホテル(泊)

2日目 ホテル・・・(ご自宅または後泊地)

■申込開始 **2018年7月1日(日)より**

■申込締切 **2018年9月30日(日)17:00まで**

■申込方法および費用のお支払い

◎日本旅行上田支店ホームページから直接webにてお申込みいただくか、または別紙FAX申込書に必要事項をご記入の上、株式会社日本旅行上田支店までFAXにてお申込みください。

◎お申込みの際、「国内募集企画旅行条件書」をお渡し致しますので、必ず事前にご確認の上、お申込みください。尚、「国内募集型企画旅行条件書」は当社ホームページ(<http://www.nta.co.jp>)からもご覧いただけます。

◎申込締切日以降、開催日の10日前に参加券及び費用のご請求書を郵送させていただきます。

到着後、ご請求書に記載された金融機関の口座へ費用の合計額をお振込みください。

■手話通訳・車いす利用など

フォーラム参加にあたり手話通訳希望や車いす利用に関する配慮が必要な方は、申込書の備考欄に記入してお知らせください。

■個人情報の取扱いについて

①当社では、お客様からのご提供いただいた個人情報を厳重に管理し、申込みいただきました宿泊の手配、チケットの発送お客様との間の連絡及び大会主催者への提供ならびにこれらに付随する業務を行うために利用します。

②その他、当社の個人情報の取扱いにつきましては日本旅行ホームページ(<http://www.nta.co.jp>)をご参照ください。

③お問合せ先：日本旅行上田支店(担当：岡田) TEL0268-24-7601

■申込内容の「変更・取消」について

◎変更および取消が生じた場合は、申込の際の申込書を変更箇所がわかるよう訂正の上、株式会社日本旅行上田支店までFAXにてご連絡ください。

また、日本旅行上田支店ホームページからお申込みいただいた方はwebサイトからの変更も可能です。

◎参加取消の場合の「参加費・交流会参加費」の扱いについて

①大会3日前(10月31日)までに取消の場合

事務手数料(一人様1,000円)を差し引いてご返金致します。

②2日前以降大会当日までに取消の場合

「参加費・交流会費」のご返金はいたしません。大会資料の発送をもって代えさせていただきます。

◎宿泊の取消に関しましては、取消日より下記の取消料を申し受けます。予めご了承ください。

取消日	14~8日前	7~2日前	前日	当日12:00まで	当日12:00以降
宿泊	20%	30%	40%	50%	100%

※この取消料は当プランのみ適用致します。

※受付時間外にいただいた変更・取消のご連絡は、翌営業日の受付扱いとさせていただきます。

- 申込みは日本旅行上田支店ホームページまたはFAXにて承ります。  
「申込内容」をご一読のうえ、9月30日(日)17:00までにお申込みください。  
日本旅行上田支店ホームページURL <https://www.nta.co.jp/shop/shoplist/4538/>  
■先着順での受付とさせていただきます。

**FAX専用申込書 FAX番号 0268-24-7622**

※複数名でお申込みの場合は、本申込書をコピーの上お申込みください。

申込日	月	日	新規申込	内容変更	参加取消
-----	---	---	------	------	------

①所属団体・参加者について

所属団体名					
所属団体の種類 □ 職場 □ 自宅	右記の該当する番号をご記入ください	①行政機関および公的組織 ②大学/研究機関/教育機関 ③企業/業界団体 ④労働組合 ⑤協同組合 ⑥青年会議所 ⑦日本赤十字社 ⑧共同基金会 ⑨市民活動団体・ボランティア団体(NPO・NGOを含む) ⑩NPO支援センター(中間支援組織) ⑪自助グループ/当事者団体 ⑫自治会・町会/自主防災組織 ⑬社会福祉協議会 ⑭国際機関 ⑮職能団体など ⑯報道機関 ⑰大学生 ⑱その他( )			
所属団体の所在地 (資料送付先となります)	〒	-	※郵便番号・住所は正確にご記入ください		
	フリガナ				
	住所				
	電話	-	-	FAX	-
E mail @					
参加者氏名	フリガナ		部署名	役職名等	
	氏名 (男性・女性)				
	年齢(大会当日)	歳	携帯電話	-	
バス駐車場利用の有無	有り ・ 無し		※各会場・宿泊施設ではバス駐車スペースに限りがありますので、マイクロバス以上のバスにてお越しの方は、事前にお知らせください。		
備考欄					

②申込内容

11/3 (土)	全体会	(ご希望に○印)	参加します	・	参加しません
	交流会	(ご希望に○印)	参加します	・	参加しません
11/4 (日)	分科会	第1希望	分科会・フィールドワーク番号:		
	フィールドワーク	第2希望	分科会・フィールドワーク番号:		

③宿泊申込 【宿泊のお申込みをされる方のみご記入ください。申込記号は「参加者申込方法」をご参照ください。】

第1希望	ホテル番号:	ツインの場合同室者名:	禁煙 ・ 喫煙		
第2希望	ホテル番号:	ツインの場合同室者名:	禁煙 ・ 喫煙		
前泊・後泊の希望	宿泊日:	月	日	より	泊

※喫煙・禁煙のご希望はご要望に添えない場合もございます。また軽井沢プリンスホテルウエストは全室禁煙です。

④費用計算

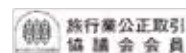
参加費	交流会参加費	宿泊料金	宿泊料金(前後泊)	費用合計額
円	円	円	円	円

株式会社日本旅行 上田支店 ○総合旅行業務取扱管理者: 浦上広光 ○担当: 岡田・宮崎  
〒386-0012 長野県上田市中央5-1-5 アオキビル  
(TEL) 0268-24-7601 (FAX) 0268-24-7622  
営業時間: 月~金曜10:00~17:30 休業日: 土日祝日 E-mail: ueda\_net@nta.co.jp

【旅行企画・実施】  
お申込み・お問合せは



観光庁長官登録旅行業 第2号  
一般社団法人日本旅行業協会 正会員



○総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う支店・営業所での取引に関する責任者です。  
この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご連絡なく表記の総合旅行取扱管理者にご質問ください。